

マルチクラウドアプリケーションの簡素化と エクスペリエンス向上を可能にする フォーティネットのセキュア SD-WAN

概要

災害復旧、グローバルな接続性、ベンダーロックインの回避、トップクラスのソリューションといったメリットを得るために、ほとんどの企業が複数のクラウドプロバイダーのサービスを導入しています。ところが、パブリッククラウドやプライベートクラウドを複数導入することでネットワークとセキュリティのインフラはいずれも複雑になり、運用のアジリティが損なわれる原因になっています。この問題の解消に役立つのが、セキュア SD-WAN です。ネットワークエッジのインフラを簡素化し、クラウドで生成されるトラフィックパフォーマンスのボトルネックを解消し、接続コストを低減します。

フォーティネットのセキュア SD-WAN は、ネットワークとセキュリティの両方を統合したソリューションを提供し、優れたアプリケーションパフォーマンス、管理の一元化、そして高度な脅威保護を提供し、お客様をサポートします。業界初のイノベーションとして登場したフォーティネットのセキュア SD-WAN は、マルチクラウド環境の通信を支援するトップレベルのソリューションとなっています。

マルチクラウド機能を活用できない従来型 WAN インフラ

マルチクラウドのメリットは十分に認識されているものの、複数のプライベート / パブリッククラウドサービスを管理し保護する作業の複雑さは、依然として多くの企業が抱える課題となっています。マルチクラウド環境では、すべての環境を可視化することができず、管理や制御を行うツールが連携していないため、セキュリティの問題が発生する原因となります。

複数のクラウドを運用する複雑さを解消するために、オンプレミスのデータセンター WAN エッジを介して複数のクラウドを接続する方法が採用されてきました。ところが、従来の WAN はプロトコルレベルスイッチング (MPLS) リンクを使用するため、接続コストが高額になります。また、古い「ハブ & スpoke」アーキテクチャを採用するため、フィルタリングとセキュリティチェックを行うには、クラウドアプリケーションのトラフィックをオンプレミスのデータセンターに戻さなければなりません。クラウドアプリケーションのワークロードが増加を続けるのに伴い、このボトルネックはネットワーク帯域幅を消費し、組織全体のパフォーマンスを低下させてしまいます。

クラウド間でトラフィックを接続し保護するフォーティネットのソリューション

フォーティネットは、独自のアプローチでセキュアかつ効果的な SD-WAN インフラを提供し、企業のマルチクラウド戦略のメリットを最大限に引き出します。

フォーティネットのマルチクラウド向けセキュア SD-WAN は、複数のクラウドネットワーク全体にシームレスなオーバーレイネットワークを自動展開します。可視化、制御、一元管理の機能を備えているため、複数のクラウド環境の機能を統合することができます。データセンターへのバックホールを行わなくてもクラウドトラフィックを保護でき、アプリケーションを個々に識別することで接続をインテリジェントに選択します。これは、パフォーマンスの向上やコストのかかる MPLS リンクへの依存度を低下させることにつながります。



マルチクラウドは広く浸透しており、企業の 93% がマルチクラウド戦略を既に採用しています¹。



グローバルなクラウド IaaS (サービスとしてのインフラストラクチャ) 市場は 28% 近い CAGR (年平均成長率) で成長することが予測され、2023 年までに 1,015 億 6,000 万ドルに達すると見込まれています²。

簡素化、パフォーマンス向上、コスト削減に加えて、セキュリティを強化

フォーティネットのセキュア SD-WAN は、SD-WAN ネットワーキングとセキュリティを統合するソリューションであり、効果的なマルチクラウド戦略を立案する企業が直面する重大な課題を解決します。このソリューションには、次のようなメリットがあります。

- **シンプル**：フォーティネットのセキュア SD-WAN は、WAN インフラを統合し、クラウド間の接続を最適化する独自の統合機能を提供します。
- **パフォーマンス**：フォーティネットのセキュア SD-WAN は、個々のアプリケーションと定義済みのビジネスポリシーに基づいて、暗号化された高速接続を介してトラフィックを自動的にルーティングすることで、パフォーマンスのボトルネックを解消します。
- **コスト削減**：フォーティネットのセキュア SD-WAN は、管理を一元化する機能と、MPLS に比べてコスト効率に優れたインターネット接続を安全に使用する機能を備えたオールインワンソリューションであるため、CapEx（設備投資）と OpEx（運用コスト）の両方を削減します。

フォーティネットソリューションの最大の特長は、分散した動的なマルチクラウド環境で稼働する個々のコンポーネントを保護する機能により、クラウドのセキュリティを強化する点です。フォーティネットのセキュア SD-WAN は、FortiGate 次世代ファイアウォール（NGFW）の高度な保護機能と SD-WAN の卓越したネットワーキング機能の両方を備えています。これらの機能により、企業はクラウドセキュリティの責任共有モデルにおける責任を果たすと同時に、データに関する法規制や業界標準へのコンプライアンスを維持することが可能になります。

主なメリット：マルチクラウドに理想的なフォーティネットのセキュア SD-WAN

企業は、フォーティネットのセキュア SD-WAN を採用することで VPN（仮想プライベートネットワーク）接続の限界を超えることが可能になります。この業界初となるソリューションは、幅広いクラウドネイティブツール、広く普及したフレームワーク、FortiOS API を使用することにより、クラウドネットワークを網羅する SD-WAN インフラの容易な展開を実現します。その展開は反復可能で、パブリッククラウド、クラウドネイティブ、SDN（ソフトウェア制御によるネットワーク）/ SDDC（ソフトウェア制御によるデータセンター）の統合を幅広くサポートします。



NSS Labs が実施した最新の NGFW グループテストにおいて、FortiGate は、99.3% のセキュリティ効果と 100% の検知回避策ブロック率を実現しました³。



市場で提供されている他のソリューションとの直接比較では、フォーティネットのセキュア SD-WAN は、NSS Labs SD-WAN グループテストで使用した実際のシナリオにおいて Mbps あたりの TCO が最も低いという結果が出ています⁴。

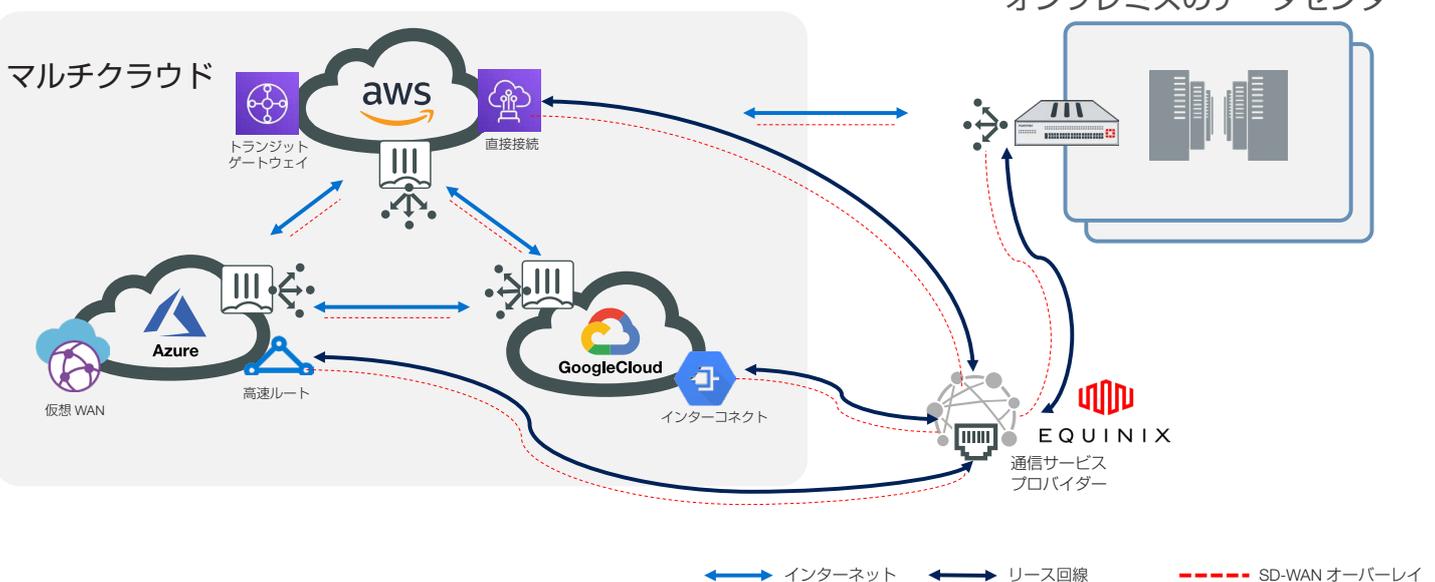


図 1：マルチクラウドに理想的なフォーティネットのセキュア SD-WAN。複数クラウド上のアプリケーションとワークロードを接続。

アプリケーション識別をベースにした動的なパスの選択によってインテリジェントなアプリケーショントラフィックステアリングが可能となり、パフォーマンスの最大化と接続コストの節減をもたらします。フォーティネットのセキュア SD-WAN は、インターネット接続やクラウドプロバイダーの直接接続を介して、ビジネスポリシーに基づいたアプリケーショントラフィックのルーティングを実行します。これによって柔軟で低コストの優先順位付けが実現し、より良いアプリケーションエクスペリエンスの提供が可能になります。

アプリケーションの展開に要する時間の短縮は、ビジネスの生産性向上や売上創出を加速することになります。また、フォーティネットのファブリックコネクタ、自在な拡張性、一元管理、ワークフローの自動化は、運用コストと TCO（総所有コスト）の大幅削減をもたらします。

マルチクラウドの可能性を最大限に引き出す

旧式の WAN インフラや不完全な SD-WAN ソリューションでは、マルチクラウド環境の有効活用という課題を解決することはできません。このようなソリューションでは、マルチクラウドが持つ数々のメリットを活用できないだけでなく、サイバー攻撃のリスクにも十分に対応できません。

フォーティネットが提供する業界初のマルチクラウド向け SD-WAN ソリューションは、多様なクラウド環境で一貫した展開とアプリケーションエクスペリエンスを実現すると同時に、インフラや運用のコスト削減と複雑さの軽減を可能にします。そして何より、クラウド間を移動するデータなど分散したネットワークインフラに存在するあらゆるデータを、場所を問わず保護することが可能になります。

主な価値提案

- マルチクラウドの SD-WAN 接続をプログラミング可能
- 優れたアプリケーションエクスペリエンス
- 一貫した可視性と制御
- オペレーションの合理化
- コストの節約

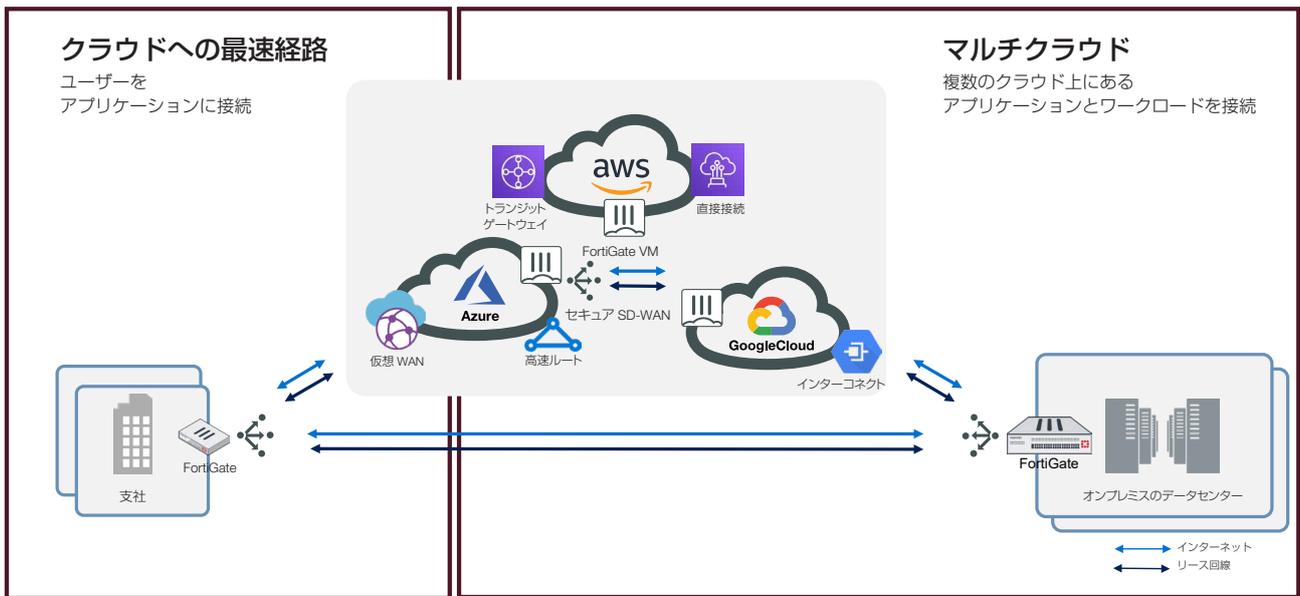


図 2：フォーティネットのクラウド向けセキュア SD-WAN。ユーザー、アプリケーション、クラウド接続のユースケース。

¹ [Cloud Computing Trends: 2020 State of the Cloud Report], Kim Weins 著、Flexera, 2020 年 5 月 21 日 (英語) : <https://www.flexera.com/blog/industry-trends/trend-of-cloud-computing-2020/>

² [Global Infrastructure as a Service (IaaS) Market 2019-2023], Business Wire, 2019 年 10 月 23 日 (英語) : <https://www.businesswire.com/news/home/20191023005279/en/Global-Infrastructure-Service-IaaS-Market-2019-2023-Evolving>

³ [フォーティネット、NSS Labs の SD-WAN グループテストレポートで 2 年連続の「Recommended (推奨)」評価を獲得]、フォーティネット、2019 年 7 月 3 日 (米国時間 2019 年 6 月 19 日に発表されたプレスリリースの抄訳) : <https://www.fortinet.com/jp/corporate/about-us/newsroom/press-releases/2019/fortinet-receives-second-consecutive-nss-labs-recommended-rating.html>

⁴ 同上

FORTINET®
 フォーティネットジャパン株式会社
 〒106-0032
 東京都港区六本木 7-7-7
 Tri-Seven Roppongi 9 階
www.fortinet.com/jp/contact

お問い合わせ